

# 富山大学生協 夏合宿



[ 組織運営 ]

## 取り組み概要

日時：9/27(金)～29(日)  
場所：国立立山少年自然の家  
参加者数：学生委員会(41)、学生事務局(1)

背景や概要：

夏期休暇中、3日間にわたって夏合宿を行いました。前期の活動が終了し、後期の活動のための動き出し期間。もう一度生協や学生委員会について理解し、活動をさらに活発化させるために行いました。

生協・学生委員会への理解度アップへ

### POINT.1

## 大学生協・富山大の学生委員会って何してる？

3.Vision & Action plans

達成目標とそれに向けた計画目標  
活動の基となる計画の設定



夏期休暇中に行われた夏合宿。前期の活動を振り返りつつ、後期の活動に活かすため、今一度生協や学生委員会について再確認を行いました。生協の仕組みや学生委員会の役割を図を用いて説明できていました。また、富山大学生協学生委員会にはVision&Actionという独自の方針を策定しており、誰もが理解できるように、クイズにして取りかかりやすい工夫をしていました。

### POINT.2

## 実際に企画を作ってみよう！

2日目は、現状→企画立案の流れを書くロードマップを使用し、組合員の声や現状について話し合いました。そして、実際に各班で考えた企画を模造紙に書き起こし、内容をより具体化させました。新入生の不安を解消する、「先輩に聞く！相談コーナー」や薬学の知識を活かしたビブリオバトル、「ドラッグバトル」など総合大学ならではの幅の広い企画を立てることができました。そして、どの企画が一番良いかを投票し、最終日に発表を行うことで、企画立案・実施への意欲が高まったと感じます。



### POINT.3

## 合宿を通して仲間意識も高めた！



勉強会の合間に「ドッチビー」を行いました。ここでは学年の壁はありません。いかに敵陣の人数を減らせるか、みんな本気になって汗を流しました。また、夜はキャンプファイヤーや野外炊飯をしました。どうしたらおいしいカレーができあがるのか、試行錯誤しながら作ったカレーは格別なものになったと同時に、参加者同士の仲間意識が高まりました。